

応募様式

地方創生に結びついたレファレンス事例

1. レファレンス事例のテーマ（応募名となります。）

テーマ（15字内） 議会図書室発の政策形成力の強化
副題（字数制限なし） 議会の質問力向上と産業振興分野の施策立案を例に

2. 応募者 ※枠の大きさは適宜調整してください。

応募者属性	いずれかに○をしてください。 ・ <input checked="" type="checkbox"/> 図書館 ・ 図書館利用者（個人） ・ 図書館利用者（法人・団体等）	
代表者氏名	呉市議会議長 加藤忠二	
所属・職名等	呉市議会	
連絡先	担当者	呉市議会事務局 議会図書室 司書
	〒所在地	〒737-8501 呉市中央4-1-6
	電話	
	FAX	
	e-mail	

（図書館の蔵書冊数について、平成30年3月末日の概数を記入してください。）

レファレンスサービスを提供または受けた図書館名と蔵書数	図書館名： 呉市議会図書室兼市政資料室	蔵書冊数： 約0.6万冊 （うち議会図書室が約0.1万冊）
-----------------------------	------------------------	-------------------------------------

3. レファレンスサービスを実施した／受けた時期

平成28年4月～（議会の質問力向上） 平成29年4月～30年3月頃（産業振興分野の施策立案）

4. 公表について

「1. レファレンス事例のテーマ」及び「2. 応募者（連絡先は除く。）」を図書館総合展のホームページ等で公表することに

同意します

同意しません

（いずれかに○をしてください。）

5. 質問の詳細と背景 ※枠の大きさは適宜調整してください。

【議会の質問力向上】

■呉市議会図書室の改革

・議会図書室は、地方自治法 100 条により設置が義務付けられた図書室であり、その目的は議員の調査活動の支援である。しかし、法の趣旨に沿って整備を進めている議会は少数であり、以前の呉市議会図書室も同様で、ほぼ「物置」状態だった。

・そんな中、呉市議会は、庁舎建て替えを機に、「強い議会」を支える議会図書室の機能強化を目指し、議会図書室本来の目的に沿った再整備を進めた。ここでいう「強い議会」とは、活発に意見を交わした上で大局的に判断して結論を導き、その結論をもとに議会が団結して市長と対峙していくものである。

・平成 28 年 4 月からは、新たに司書 1 名（嘱託職員）を配置するとともに、呉市立、広島県立、広島修道大学等の図書館との連携を強化し、主にレファレンス機能の充実を図った。

・司書を中心に、議員への積極的な情報提供※を図りながら、「一般質問に使える議会図書室」を構築

※議員への積極的な情報提供…新着図書や各地の先進的な政策を紹介する議会図書室情報紙の発行、一般質問に「使える」特集棚（例：子どもの貧困、働き方改革）の図書室内への設置、議員ごとに設定したキーワードをもとに、関連する新聞記事や図書などの情報を送信する議員個別メール情報提供サービスの実施

【産業振興分野の施策立案】

また、本議会図書室は、市政資料室も併設していることから、広く市職員にも活用されている。その一例として、産業振興分野の施策立案を紹介する。

■質問の背景（商工振興課職員から聞き取り）

・本市では、仕事を理由とした 40 歳以下の若年人口の市外流出（社会減）が長年の地域課題となっている。このため、市では、仕事（雇用）の場の確保とともに、仕事をつくること（創業）への支援に取り組んできた。

・例えば、創業支援施策及び空き店舗対策として、市内に新規出店する事業者から魅力的な事業案を募集し、選考委員会で選ばれた事業者に奨励金を交付する公募事業を実施。過去 10 年で市内に 80 店舗以上の新規出店を支援してきた。

・しかし、市内金融機関や広島県への聞き取りによれば、創業関連資金貸付実績や、創業セミナーの呉会場の参加者数は、県内他地域と比較して、依然低い水準にあり、創業件数及び創業意欲の低さが地域課題になっている。

- ・さらに、市内の主要商店街の空き店舗率は近年 18%前後と高止まり状態にある。
- ・上記の地域課題を解決する新たな産業振興施策立案を検討する必要があった。
- ・そんな中、上記公募事業を活用して起業した事業者から、起業コンテストの実施で人口社会増への転換等に成功した島根県江津市の事例を紹介される。

■質問の内容

- ①全国で実施されているビジネスプランコンテストの概要を調べたい。
- ②なぜ江津市の起業コンテストは成功し、多くの起業家が生まれているのかを調べたい。
- ③補助金に頼らない、持続可能な空き店舗対策を実施している事例を調べたい。

6. 図書館からの回答内容 ※枠の大きさは適宜調整してください。

【議会の質問力向上】

議員からの一般質問のためのレファレンス依頼を受けて、提供した資料の例

■視覚聴覚障がい者の支援について、何か一手を講じたいという依頼に関して視覚聴覚障がい者の支援の多くが、呉市でも導入している手話通訳やバリアフリーなどの外部支援だったので、今後、働き手が減少していく中、障害をお持ちの方が主体的になっていけるような支援が重要になっていくのではないかと考えると、近年台頭している ICT 技術の合わせ技で既に実施している事例を調査し提供

○具体的事例として、明石市の自治体初となる手話対応型公衆電話ボックス「手話フォン」の紹介

○電話リレーサービスの記事

○タブレット端末による遠隔手話サービスの記事

○災害時用スカーフ・ハンカチの実用事例記事 ほか

■日本版 DMO がどういったもので、どうしたらつくれるのかという依頼に関して図書については、依頼内容に合致した 1 冊で、DMO をどうやってつくっていけばよいか具体的に記されていたため提供

連載記事については、日本における DMO の第一人者の高橋一夫氏の連載であったため提供。なお、連載記事はコンパクトにまとめられているため、他のレファレンス依頼時にも、よく案内をしている。

○『日本政策投資銀行 Business Research 観光 DMO 設計・運営のポイントーDMO で追求する真の観光振興とその先にある地域活性化』（日本政策投資銀行 地域企画部／著 ダイヤモンド社 2017）

○「観光 DMO の生かし方」（高橋一夫／著 日経グローバル連載）全記事 ほか

【産業振興分野の施策立案】

①について

○中小企業・小規模事業者のビジネスをサポートするためのポータルサイト「ミラサポ」の「全国で開催されているビジネスプランコンテスト」のページを紹介

②について

江津市の起業コンテストの特徴を調査し、キーワードを「ローカル（志向、ビジ

ネス、ベンチャー等)」と「ソーシャル（ビジネスなど）」と設定。これらのキーワードに多く合致する著者の資料のうち、江津市の起業コンテストに関係するものを提供した。

○『ぼくらは地方で幸せを見つける（ソトコト流ローカル再生論）』（指出一正／著 ポプラ社 2016）

○『ローカルに生きるソーシャルに働く（シリーズ田園回帰）』（松永桂子 尾野寛明／著 農山漁村文化協会 2016） ほか

③について

「補助金に頼らない」「空き店舗」「まちづくり」等のキーワードで、多数該当のあったリノベーションまちづくりについて調査したところ、質問内容に最も合致するものと判断し、資料提供を行った。

○『エリアリノベーション：変化の構造とローカライズ』（馬場正尊ほか／著 学芸出版社 2016）

○『リノベーションまちづくり 不動産事業でまちを再生する方法』（清水義次／著 学芸出版社 2014） ほか

7. 今回の応募事例が地方創生に結びついた成果・効果

※枠の大きさは適宜調整してください。

地方創生の本旨は「勤と経験と思い付き」に基づく政策形成から、エビデンスに基づく政策形成への転換を図り、地方の自立を進めることにありと理解している。本件は次のとおり、エビデンスに基づく政策形成を具体化した。

【議会の質問力向上】

・一般質問や委員会における質疑の前に、議会図書室で資料調査（他の自治体の先進事例、法的裏付け、統計データ等）を行う議員が急増。かつて議員の議会図書室利用は皆無に近かったが、再整備後2年余りの間に、利用頻度の差はあるが、全ての議員が利用

・一般質問においては、「議会図書室での調査によれば…」という発言が複数の議員からあった。主張の根拠となるデータ、他の自治体の先進事例の分析などに裏打ちされた質問は、行政との緊張感のある政策議論を可能にしている。

・こうした議会審議の質的向上は、早稲田大学マニフェスト研究所等からも高く評価され、平成28年にはマニフェスト大賞優秀成果賞を受賞するに至った。

【産業振興分野の施策立案】

議会図書室からの資料提供が起点となり、施策立案に結びついている。

（以下、商工振興課職員から聞き取り）

■平成30年度新規事業「起業家支援プロジェクト」の実施

・平成30年1月に企画部門から、ふるさと納税を活用した地域の起業家を応援する施策立案の打診を受け、かねてから調査を進めていた江津市の起業コンテストを参考とした「起業家支援プロジェクト（ビジネスプランコンテスト）」を立案

・同年4月、事業内容の詳細の参考とするため、江津市を視察。事前調査をして

いたため、上記②の調査をさらに深化させることができた。

・上記視察の結果、本市に必要なのは、金融機関や支援機関を巻き込んだ継続的な支援体制の構築と、「呉市であれば何かにチャレンジできる」という創業機運の醸成が必要という結論に至り、起業家を後押しするコンテスト審査途中の勉強会や、新規事業のPRや創業機運醸成のための講演会の実施につながった。

・上記講演会の講師として、上記②の回答で提供のあった資料の著者が編集長を務める、雑誌の副編集長を招聘。

■「リノベーションまちづくり」事業の施策立案

・上記③の回答を受け、本市の地域課題を解決する一つの手法として、遊休不動産を再生することで、新たな事業や雇用を生み出していくリノベーションまちづくり事業の本市での実施に向けた検討を行う。

・同事業の趣旨である「民間主導の公民連携のまちづくり」を体得するため、福山市で実施されたリノベーションスクールに参加、その内容を商店街やまちづくり関係者、不動産事業者等に説明。新規事業として提案すべく準備を進めている。

・同事業に共感した商店主が、本年9月にリノベーションプロジェクトを実施。議会図書室発の施策立案が途中経過ながら、まちに変化の兆しを生んでいる。

8. 今後の課題・展望 ※枠の大きさは適宜調整してください。

【課題】

・本議会図書室は、市政資料室を兼ねており、議員・職員、双方からのレファレンスを受けている。その対応のために、一般的な司書としての能力に加え、市政や議会の運営方法や、市政の重要課題の理解といった市政への「土地勘」を磨くことが必要であり、司書配置以降、この点に注力してきた。一方で、行政の視点とは違った「司書ならではの広い視点」こそ、レファレンスサービスの意義であり、今後もこの2点を大事にしながらサービス提供、さらには政策形成の貢献を続け、「使える」議会図書室を定着させることが課題である。

・職員や蔵書といったリソースに乏しい本議会図書室にとって、他の図書館との連携は命綱となっている。今後もより質の高いサービス提供に向け、利用実績の少ない大学図書館との連携の活用や新たな連携先の模索を図っていく必要がある。

【展望】

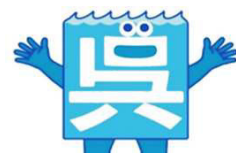
・今回の事例は本市の政策形成を、議会審議と産業政策の側面で底上げしたものであるが、①その持続可能性は高く、②手法は他の政策分野にも応用でき、かつ、③効果は全住民に波及することを確認できた。地方創生の本旨に即して、本市の政策形成の在り方を変える、その中心に議会図書室があることを、今後もアピールしていきたい。

(注)

- 1 本様式の作成にあたっては、全体で5ページ以内に収めてください。
- 2 本様式とは別に参考資料を添付していただくことも可能ですが、資料のサイズはA4サイズとしてください。
- 3 書類審査を通過した応募書類については、図書館総合展ホームページ等で公表させていただく

起業家支援プロジェクト in

呉



プラン大募集中!



ビジネスプランコンテスト 2018

公募
期間

8月1日(水) ~ 9月25日(火)

「起業家支援プロジェクト」は、呉市内で起業しようとする方(新たな事業展開を含む)を対象に、事業のブラッシュアップと必要な費用を支援する取組です。

あなたのビジネスプランを呉市と各支援機関が応援します!

奨励金

選考委員会で選定されたビジネスプラン(若干数)に関して、呉市がクラウドファンディング型ふるさと納税を募集して集まった額を奨励金とします。

募集条件

呉市内で起業しようとする方(新たな事業展開含む)であれば、どなたでもご応募いただけます。

申込方法

募集要項や提出書類の様式は、呉市ホームページからダウンロードしてください。

■ 申込期日：【郵送】期間最終日の消印有効 【持参】期日最終日17時15分まで

お問合せ・提出先

〒737-8501

広島県呉市中央4丁目1-6 呉市産業部商工振興課 担当：久保・三浦

● TEL : (0823)25-3815 ● FAX : (0823)25-7592 ● E-Mail : syoukou@city.kure.lg.jp
● 呉市ホームページ : <http://www.city.kure.lg.jp/> しごと情報>>産業振興課>>商業





プラン応募から審査までの流れ

あなたが持つビジネスプランで、
未来を駆け上がろう！！

自分で掴む！



【公開】(12月中旬) プレゼン審査

選定されたビジネスプランに関して、呉市がクラウドファンディング型ふるさと納税で集まった金額を奨励金として交付します。

(11月頃に2回実施予定)

ブラッシュアップ勉強会

書類審査通過者を対象に、支援機関がプランについてアドバイスを行うブラッシュアップ勉強会を実施します。勉強会では、プレゼン審査で使用するパワーポイントを使います。対象者は準備をお願いします。

(9月下旬～10月上旬)

書類審査

結果発表は10月上旬頃の通知になります。プレゼン審査(発表時間7分)ではパワーポイントを使用させていただきますので、書類審査通過者は準備をお願いします。

締切

9/25
(火)

各
支
援
機
関

● 呉商工会議所 (呉地域中小企業支援センター)	呉市本通4丁目7-1 呉商工会議所ビル1階 TEL(0823)21-0151 / FAX(0823)25-5544
● 呉広域商工会	呉市川尻町1丁目1-1(本所) TEL(0823)70-5660 / FAX(0823)87-3318
● (株)日本政策金融金庫 呉支店	呉市本通4丁目7-1 呉商工会議所ビル2階 TEL(0823)24-2600
● (株)広島銀行	呉市内の各支店
● (株)もみじ銀行	呉市内の各支店
● 呉信用金庫	呉市内の各支店
● (公財)ひろしま産業振興機構ひろしま創業サポートセンター	広島市中区千田町3-7-47 広島県情報プラザ1階 TEL (082) 240-7702 / FAX (082) 249-3232

あなたのビジネスプラン作成をサポートします。お問い合わせください。



スタートアップ講演会を開催します！

月刊「ソトコト」副編集長の小西威史氏を迎え、「地域で仕事をつくること」をテーマにスタートアップ講演会を開催します。

【日 程】 平成30年9月10日 (月)
 【時 間】 18:30 ~ 20:00 予定 (18:00開場)
 【場 所】 ビューポートくれ 3F大ホール
 【問合せ先】 呉市商工振興課 TEL(0823)25-3815

小西 威史さん (こにし・たけしさん)

月刊ソトコト副編集長。
 兵庫県生まれ。神戸新聞社へ入社後、社会部記者などを経て退社。その後、動物写真家を目指しケニアへ移住。約3年半滞在して、帰国後はソトコト編集部に。巻頭インタビューや特集ページ、「地方にある暮らし」連載の担当などを通じ、地方で起きている暮らしや働き方の変化を紹介している。広島県の移住促進冊子『ひろがる ひろしま』も手がける。

